萌 (一九00-1

地金襴手 雲雀迎春花文

九六八年

鳴き声 を迎える花といわれています。 ら中国名で「迎春花」と呼ばれ、 るのは、 優美な飾壺です。 の訪れを祝福するかのような典雅 地金襴手雲雀迎春花文飾壺」は、 温かな季節となりました。 花が咲き、 黄梅は春先一番に咲くことか 、は春の訪れを告げる声とさ 雲雀と黄梅です。雲雀の吹嘘り まうばい 産に描かれてい 小鳥の 歌が聞こえる 本作「紅

に認定されました。中国陶磁につ 化財「色絵磁器」保持者(人間国宝)生まれ、一九六一年、重要無形文 て高い見識を持ち、 加藤土師萌は、愛知県瀬戸市に 陶技を追究

「紅地金襴手雲雀迎春花文飾壺」

昭和43年 (1968) 高21.9×幅20.8cm

な感性とがみごとに示されていま よる知性と、 この

壺には、

加藤の技法追究に

自然物に寄せる温か

茨城県陶芸美術館学芸課

宮本梨衣)

※展示は六月八日(日)まで

れた作品を残しました。 ど様々な技法を幅広く などを現代に甦らせるとともに、 本作の「紅地金襴手」 黄地紅彩、 黄瀬戸、 萌葱金襴エ 唐津、 萩、 駆 は、 備 前

様の形 鳥や花など自然の形態を文様化 りによる自由な描線により描 景徳鎮官窯の技法から学んでいまで、加藤はこれを中国・明時代の の表面を赤絵具で塗り、 力を作品に与えています。 た文様は、 文様の反復によって覆い尽くされ る感覚に優れ、 に溢れています。 切り貼りされた金箔と、 に切り、 華々しさと瑞々しい情 筆書きとは一風違う魅 伸びやかな動植 貼り付ける技法 金箔を文 加藤は 針彫 か

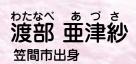
で使を

市の観光イベントや県内外の観光キャンペーンで活 躍するかさま観光大使の第14代目に阿部真知子さんと 渡部亜津紗さんの2人が選ばれました。

先輩大使の2人とともに、平成26年4月から28年3 月までの2年間、笠間市の観光PRを行っていきます。 みなさん、よろしくお願いします!

阿部 真知子 山形県出身

おもてなしとは、"相 手のこころをほぐすこ と"だと考えます。あ たたかな笑顔でおもて なしのできる観光大使 を目指します。



かさま観光大使として 笠間市のPRができる ことを大変うれしく思 います。一人でも多く の皆様に笠間市の魅力 を、紹介できるよう頑 張りたいです。